

病害虫発生予察 4 月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

令和7年4月の気象表(長野地方気象台)

官 署		平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	8.9	12.6	14.0	19.5	17.0	3.5	42.9	67.6	87.8
	平年	8.4	10.7	12.8	18.7	19.4	18.8	66.4	65.7	67.3
松 本	本年	8.7	13.9	14.5	8.5	16.0	5.0	53.7	65.3	88.0
	平年	8.6	10.9	12.9	26.3	30.5	24.4	68.7	66.4	69.8
諏 訪	本年	8.0	12.7	13.6	20.5	11.5	6.0	55.2	67.9	87.3
	平年	8.0	10.1	12.0	30.3	35.7	26.8	69.7	66.7	68.0
軽井沢	本年	4.6	10.1	10.7	33.5	16.0	7.0	50.4	67.8	86.0
	平年	4.9	7.1	9.0	27.4	29.9	23.7	70.3	65.7	68.7
飯 田	本年	9.9	13.8	15.4	35.0	17.5	26.0	56.2	69.9	78.1
	平年	9.9	11.9	13.6	47.2	52.9	40.9	64.7	62.9	65.8

○4月の気象概況(長野地方気象台 令和7年5月1日発表)

高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、期間の前半は高気圧や低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。

1 麦

(1) 生育概況

令和7年産(令和6年播種)の生育概況は、農業試験場ホームページの生育調査にある「麦類の生育状況(令和7年産(令和6年播種))」を参照ください。

農業試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyoshiken/teirei/index.html>)

(2) 病害虫の発生状況

①小麦の土壌伝染性ウイルス病害(コムギ縞萎縮病・萎縮病)

耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われているが、罹病性品種作付ほ場の一部で発生がみられた。

2 水 稻

(1) 病害虫の発生状況

①育苗期細菌性病害

高温の影響により一部でもみ枯細菌病の発生がみられたが、全般には平年並の発生であった。

②苗立枯病

昼夜の気温変化が激しい日が多く、一部でリゾープス菌、トリコデルマ菌、ピシウム菌による苗立枯病が発生したが、全般には平年並の発生であった。

③イネミズゾウムシ(越冬世代成虫)

4月の気温が平年より高く推移したため、アメダスの気温データを用いた有効積算温度による越冬後成虫の半数出現推定時期(5月19日時点)は、低暖地では平年と比べ5日程度早く、冷涼地や積雪量が多い地域では平年と比べやや遅いと推定された(第1表)。

第1表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の半数出現推定時期

区分	佐久	上田	諏訪	伊那	飯田	木曾 福島	松本	大町	長野	飯山
平年	5/10	5/ 6	5/15	5/ 7	5/ 4	5/13	5/ 5	5/24	5/ 7	5/13
本年	5/ 5	5/ 1	5/15	5/ 3	4/30	5/14	4/30	5/22	5/ 9	5/18
(平年差)	(-5)	(-5)	(±0)	(-4)	(-4)	(+1)	(-5)	(+2)	(+2)	(+5)

*2024年1月1日を起算日とし、5月18日までは本年のアメダスの気温データの実測値、半数脱出推定時期に達していない場合は、5月19日以降を平年値で予測

*平年の推定時期は、過去10年間の気温データの実測値に基づく推定時期の平均

果樹生育概況

令和7年産の果樹生育概況は、果樹試験場ホームページの定例調査にある「令和7年の生態調査結果」および南信農業試験場ホームページの調査速報にある「令和7年果樹生態調査」を参照ください。

果樹試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kajushiken/chosa/teirei/index.html>)

南信農業試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/nannoshiken/joho/sokuho/index.html>)

3 りんご

(1) 病害虫の発生状況

①黒星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）では、無防除樹における花そう葉での発病率は2.2%

（5月12日時点）であった。果樹試験場内での子のう胞子の飛散は、4月1日に確認された。

②うどんこ病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③ハマキムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

④キンモンホソガ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップでは、昨年より遅く4月第5半旬から誘殺され始めた（第1表）。

第1表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月 半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.2	0.5	0.6	1.6	1.6	0.7	1.8	0.7	0.1	0.7	0.1	18.8
前年	0	1	2	10	9	4	1	1	0	4	35	83
本年	0	0	0	0	4	4	0	5				

平年は2015年から2024年までの平均値

⑤スモモヒメシクイ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップでは、4月第5半旬になって誘殺され始め、平年と比べ多かった（第2表）。

第2表 スモモヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月 半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.0	0.0	0.0	0.7	1.2	18.5	26.4	12.0	8.7	4.6	1.4	0.9
前年	0	0	0	0	5	128	123	29	14	4	0	2
本年	0	0	0	0	2	15	62	35				

平年は2015年から2024年までの平均値

4 なし

(1) 病害虫の発生状況

①黒斑病

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）では、4月中旬以降の胞子形成度は平年と比べ低く推移している（第1表）。

補足胞子数は、4月中旬に平年値を上回った（第2表）。

果実及び新梢葉への発病は、みられなかった（第3、4表）。

第1表 越冬病斑上の胞子形成度 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7
前年	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
本年	0.0	0.0	0.0	0		

平年は2015年から2024年までの平均値

値100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態

第2表 アルタナリア属菌の捕捉胞子数 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平年	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
前年	2	2	2	2	2	2
本年	0	6	5	3		

平年は2015年から2024年までの平均値。18mm×18mm当たりの胞子数（個）

第3表 果実の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本年	0.0					

平年は2015年から2024年までの平均値（単位%）

第4表 新梢葉の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹）高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本年	0.0					

平年は2015年から2024年までの平均値（単位％）

②黒星病

巡回調査では、果実や葉への発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）では、子のう胞子の飛散が4月第3半旬からみられ、平年と比べ低く推移している（第5表）。

殺菌剤無散布樹（二十世紀）の果実の発病は、5月上旬からみられ、発病率は平年と比べ低かった（第6表）。

果そう葉の発病は、5月上旬まではみられなかった（第7表）。

第5表 ナシ黒星病 子のう胞子飛散消長 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
平年	4	152	338	957	3,292	1,435	3,415	3,052	1,081
前年	0	47	0	1	17	504	62	202	830
本年	0	0	6	5	34	5	7	20	

平年は2015年から2024年までの平均値

罹病葉から飛散する子のう胞子数

第6表 果実の発病（％） 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月		
	25日	5日	15日	25日
平年	0.8	13.8	26.7	28.7
前年	0.0	0.3	0.5	1.3
本年	0.0	0.1		

平年は2015年から2024年までの平均値

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査

第7表 果そう葉の発病（％） 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月		
	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	1.4	5.7	21.1
前年	0.0	0.0	0.0	4.0
本年	0.0	0.0		

平年は2015年から2024年までの平均値

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査

③赤星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④輪紋病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤ハマキムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑥クワコナカイガラムシ

高森町（南信農業試験場）の発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシの越冬卵のふ化完了予測日は、5月16日で、平年と比べ1日早かった（第8表）。

第8表 発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシ越冬卵のふ化完了予測日

高森町（南信農業試験場・標高560m）

年次	本年	前年	平年	2023年	2022年	2021年
完了予測日	5/16	5/3	5/17	5/9	5/20	5/19

平年は2015年～2024年までの平均気温による予測日

試験場内気象観測装置の測定値と長野地方気象台飯田観測所の測定値を補正し計算

2024、2025年は長野地方気象台飯田観測所の測定値を補正し予測

⑦ナシヒメシクイ

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、4月第2半旬から5月第1半旬まで平年と比べ多く誘殺された（第9表）。

第9表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
半年	1.4	3.3	4	3.7	4.8	1.8	2.6	1.2	1	0.4	0.3	0.2
前年	0.5	3	15	16.5	6	5.5	5	0.5	2.5	0	0	1
本年	0	8	6.5	33.5	12.5	4.5	6.5					

半年は2015年～2024年までの平均値

5 **もも**

(1) 病害虫の発生状況

①灰星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②せん孔細菌病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③モモハモグリガ

巡回調査では、幼虫の寄生葉はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ誘殺数は、平年より少ないが、4月第4半旬より誘殺され始めた（表1）。

第1表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
半年	3.2	4.0	6.5	3.7	10.0	5.1	3.3	0.7	1.5	1.7	4.3	20.7
前年	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4	4
本年	0	0	0	3	2	0	0	1				

半年は2015年～2024年までの平均値

④ナシヒメシンクイ

巡回調査では、芯折れの発生はみられなかった。

⑤カメムシ類

巡回調査では、果実の被害はみられなかった。

6 **うめ**

病害虫の発生状況

かいよう病

巡回調査では、かいよう病の発病はみられなかった。

7 **野菜**

(1) 病害虫の発生状況

①施設野菜（トマト・きゅうり）の病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

②アスパラガスの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

③たまねぎの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

④きくの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

⑤アザミウマ類

巡回調査では、長野市のきゅうり（施設・半促成栽培）で、寄生がみられた。塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）の青色粘着トラップによる調査では、4月は誘殺されなかった。（第1表）。

第1表 青色粘着トラップによるアザミウマ類誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市洗馬 （地区発生予察ほ）	レタス	平年	0.0	0.2	0.3	0.3	0.4	1.0
		本年	0	0	0	0	0	0

半年は2018年から2024年までの平均値

⑥アブラムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

塩尻市宗賀（県発生予察ほ）の黄色粘着トラップによる調査では、4月は誘殺されなかったが、塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）は4月第4半旬から、小諸市山浦（県発生予察ほ）は4月第1半旬から誘殺され、平年と比べ誘殺頭数がやや多かった（第2表）。

第2表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫飛来消長 (頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.3	0.6	0.4	0.6	0.6
		本年	0	0	0	0	0	0
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.4	0.5	1.8	1.9	1.6	4.4
		本年	4	2	3	6	3	3
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.2	0.2	0.0	0.7	1.0	2.9
		本年	0	0	0	6	2	3

平年は小諸市山浦及び塩尻市洗馬は2017年から2024年までの平均値、
塩尻市宗賀は2018年から2024年までの平均値

⑦コナジラミ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑧ハダニ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑨ナモグリバエ (レタス)

巡回調査では、寄生はみられなかった。

小諸市 (県発生予察ほ) の黄色粘着トラップによる調査では、ナモグリバエの初誘殺は4月第4半旬であり、平年と比べやや遅く誘殺頭数も平年と比べやや少なかった (第3表)。

第3表 黄色粘着トラップによるナモグリバエ誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.9	1.6	5.9	4.9	6.9	6.9
		本年	0	0	0	1	1	3

平年は2018年から2024年までの平均値

⑩コナガ (アブラナ科野菜)

巡回調査では、寄生はみられなかった。

フェロモントラップによる調査では、いずれの調査地点においても、4月第4半旬から誘殺頭数が増加し、特に小諸市 (県発生予察ほ) は、平年値の4倍～6倍の誘殺頭数であった (第4表)。

第4表 フェロモントラップによるコナガ誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	2.5	2.5	2.7	3.7	5.9	10.4
		本年	0	0	0	1	1	0
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	2.8	2.2	3.1	4.9	6.3	5.7
		本年	3	1	1	32	27	22
朝日村古見 (地区発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.5	0.5	1.2	2.0	6.0	6.2
		本年	1	2	1	5	7	2

平年は塩尻市宗賀及び小諸市山浦は2015年から2024年までの平均値、
朝日村古見2019年から2024年までの平均値

⑪オオタバコガ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

塩尻市宗賀 (県発生予察ほ) 及び須坂市 (農業試験場) のフェロモントラップによる調査では、誘殺されなかった。

小諸市山浦 (県発生予察ほ) では、ほぼ平年並の4月第6半旬に初誘殺された (第5表)。

第5表 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.1	0.0	0.0	0.2	0.4	0.4
		本年	0	0	0	0	0	0
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8
		本年	0	0	0	0	0	2
須坂市小河原 (農業試験場)	さつまいも ・水稲	平年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2015年から2024年までの平均値